

科目番号	A24009	配当学年	全学年	定員	200名	単位数	2単位
科目名	金融リテラシーを高めるー生活設計と金融の基礎知識			開設大学	近畿大学		
担当教員	安孫子 勇一 他			開講区分	後期		
英文科目名	Improving Financial Literacy			授業形式	オンデマンド授業（定期試験のみリアルタイムで実施）		
開講期間	9月27日～1月24日 金曜日 17:45～19:15			履修条件	特になし		
教室							
講義概要	<p>サブプライム問題を契機として起きた世界金融危機（2008年）の反省から、G20 や OECD における国際的な議論の中で、金融リテラシーの向上が利用者保護や金融システムの安定を実現していく上で重要との認識が広がっています。日本でも、金融経済教育推進会議が設置され、金融庁や金融広報中央委員会（事務局：日本銀行情報サービス局内）等、金融経済教育に関わる機関が大学等での金融リテラシー教育に力を入れています。</p> <p>その金融経済教育推進会議が提供する寄附講座「金融リテラシーを高める」が大学コンソーシアム大阪の「センター科目」として開講されるようになって、今年度で8年目になります。本講座は、金融庁、日本FP協会、全国銀行協会、日本証券業協会、投資信託協会、生命保険文化センター、日本損害保険協会等の多くの機関が連携し、金融の専門家が登壇して、生活設計や金融の基本について学んでいきます。</p> <p>（なお、金融経済教育推進会議の事務局を担ってきた金融広報中央委員会の機能は、新設される金融経済教育推進機構に2024年8月から移管される予定です。）</p>						
到達目標	<p>本講座では、幅広い金融分野の専門家（ゲスト・スピーカー）の協力を仰ぎ、受講者の金融リテラシーの向上を目指します。様々な金融商品の特性について、より深く理解することもできます。</p> <p>人生では、どうしても避けられない、費用が高額なイベントが発生します（教育、住宅、老後など）。それらに備えて、人生の資金計画をどう描き、若いころから資産形成をどう進めていけばよいのでしょうか。この講義は、皆さんの今後数十年の人生における金融面の羅針盤として活用できることを目指します。たとえば、就職先によっては、社会人第1日目から、企業年金の運用先（株や投信、債券等）の選択を迫られますが、この講義で考える道筋が理解できるでしょう。</p>						

授 業 計 画	
	ゲスト・スピーカーの都合により、内容や順番が変更されることがあります。
第1回	9月27日(金) 導入—金融経済教育の重要性
第2回	10月4日(金) 人生とお金
第3回	10月11日(金) お金を稼ぐ
第4回	10月18日(金) お金と経済
第5回	10月25日(金) ライフプランを描く①
第6回	11月1日(金) ライフプランを描く②
第7回	11月8日(金) お金を借りる①
第8回	11月15日(金) お金を借りる②
第9回	11月22日(金) お金をふやす①
第10回	11月29日(金) お金をふやす②
第11回	12月6日(金) リスクに備える①
第12回	12月13日(金) リスクに備える②
第13回	12月20日(金) トラブルに強くなる
第14回	1月10日(金) ライフプランを描く③
第15回	1月17日(金) 全体総括
第16回	1月24日(金) 定期試験 ※18:00-19:00のリアルタイム実施
評価方法	定期試験(出席率2/3以上の学生のみ採点対象) 80% … 期限に少しでも遅れた人は出席とみなしません ライフプラン見直しワークシート(第6回講義課題) 20% … 期限に少しでも遅れた人は提出とみなしません その他授業への貢献には加点することがあります。
授業の方法	オンデマンド授業(Google Classroomに動画を配信し、期日中に視聴。オンデマンドの副教材<復習用>も活用しましょう) ※第16回(1月24日)の定期試験のみ、リアルタイム(18:00-19:00)での実施となります。(Google Classroomに課題を掲載します)
教科書	テキストは指定しません。レジュメ、資料等を必要に応じ、Google Classroomに掲載します。
備 考	【開講日時】9月27日(金)~1月24日(金) 毎週金曜日 17:45~19:15 ※ただし、12月27日、1月3日は除く。 【講義資料】⇒大学コンソーシアム大阪が提供するGoogle Classroomに必要な資料を掲載します。 受講生にはクラスに参加するためのクラスコードをお知らせします。